

菊西学舎だより

令和3年7月号

— 対話により学び合い、あきらめず挑戦する菊西学舎の子 —

(菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小)

第1回菊西学舎運営協議会開催



6月16日(水)に菊川市庁舎東館「プラザ きくる」で、菊西学舎で初めての学舎運営協議会を開催しました。自治会、コミュニティ協議会、健全育成会、社会教育委員、学校評議員など、関係者31名が参加して実施しました。

初めに、本運営協議会委員長に、やなぎ文庫代表の三浦康子さんを選出しました。

次に、学舎コーディネーターから、中学校区を一つの学び舎(学舎)として、子どもたちを

学校と地域で連携して育てることを目指す、「学びの庭」構想・小中一貫教育について説明しました。また、地域の人材や情報、保幼小連携や地域連携のアイデアなどをいただく学舎運営協議会の役割について、話をしました。

続いて菊西中校長から菊西学舎の目標やめざす子ども像、「学び・こころ・からだ」を踏まえた教育活動の取組について、話がありました。

その後、意見交換を行いました。その概要は、以下のとおりです。

- ①菊西学舎の取組が始まったが、今年度の取組の落とし込みはできているか。
- ②学校教育と地域の方々の教育の時間はうまく取れているか。
- ③先行の岳洋学舎の取組を踏まえて進めると、やりやすいのではないか。
- ④岳洋学舎の取組による変化や成果はどうだったか。

昨年度まで2年間岳洋学舎で取組んできたことを踏まえ、本年度からは菊川市内全域で学びの庭構想に取り組んでいます。この取組を新聞や広報などで取り上げてもらったり、本学舎だよりを発行したりして、広くみなさんに知っていただけるようにしています。取組の時間の確保は難しい部分もありますが、これまでの取組を学びの庭構想の視点から整理し工夫していくことで、取組を進めることができるのではないかと考えています。まずは、この学舎運営協議会の開催で取組の一步を踏み出し、活動をしながら改善向上を図っていくことができたらと考えています。

参加した委員のみなさんに前向きに受け止めていただき、この取組に高い関心を持っていただきました。また、いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。これから委員のみなさんの様々なお力添えをいただきながら、次代を担う子どもたちのよりよい学びと成長へとつなげていくことを目指していきます。



地域の偉人を学ぶ 関口隆吉

内田小学校では、6月16日（水）に4年生が、学区の月岡にゆかりのある地域の偉人「関口隆吉」について学びました。地元にある関口隆吉遺徳顕彰会の鈴木邦雄さんを講師に招き、お話をしていただきました。江戸に生まれ、明治維新となり、牧之原台地の茶園開拓のために、月岡に移り住んだ関口隆吉。県令となり、初代静岡県知事となって、困った人を助けたいという思いで、様々な事業に取り組みました。牧之原台地の茶園開拓、堀之内駐車場の整備、久能山に久能文庫の設置などです。現在の私たちの暮らしにもつながっている事業です。このように、多くの業績を残している関口隆吉ですが、鉄道事故のけがにより54歳で他界しました。関口隆吉とのつながりの深い方には、高校の校長先生や広辞苑の編者・新村出がいます。また、遺書には派手な葬儀をしないようにしたためであり、その人間性を感じることができました。



子どもたちは、このように大きな業績を残した方が学区にいたことを知り驚くとともに、その業績が現在の自分たちの暮らしにも役立っていることがわかり、改めて関口隆吉についての理解や関心を深めることができました。地域のひと・もの・ことから様々な学びにつながっていきます。

田んぼを実感・田植え

横地小学校では、6月11日（金）に5年生が田植えをしました。地域の農家や田野址夢会、JAの方に御協力いただき、体験をすることができました。農家の方から「観察・感じる・考える」を大事にして苗を植えてほしいと話があり、田植え機で植える様子を見学し、最後に自分たちで実際に田んぼの中に入り、泥の感触を味わいながら苗を植えました。

子どもたちは、田植えのやり方を知り、この作業の大変さを実体験し、農家の人の苦労やコメ作りにかかる思いなどを感じ取ることができました。田植えができる環境と、それを教えてくださる人材とがいて、はじめて実施できる事業で、学びの庭構想につながる大切な取組となっています。初めて田んぼに入り苗を植えたという子もいました。この貴重な体験が地域への関心や愛着を強めてくれるものと思います。



川はきれい・水生生物調査

加茂小学校では、6月22日（火）に4年生が西方川で水生生物調査を行いました。市環境推進課職員の指導で、たもで生き物を集め調べてみると、ヨコエビ類などきれいな水の中でしかすめない生き物がたくさん見つかりました。また、水質を調査するパックテストも行い、容器に入れた川の水がピンクや紫にかわり、水質がよいことがわかりました。

身近な西方川がきれいなことがわかり、この川をずっときれいなまま残していきたいと考えていました。

